



联合国  
粮食及  
农业组织

FOOD AND  
AGRICULTURE  
ORGANIZATION  
OF THE  
UNITED NATIONS

ORGANISATION  
DES NATIONS  
UNIES POUR  
L'ALIMENTATION  
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION  
DE LAS NACIONES  
UNIDAS PARA  
LA AGRICULTURA  
Y LA ALIMENTACION

منظمة  
الغذية  
والزراعة  
للأمم  
المتحدة

#### Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,  
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101  
Facsimile: (045) 222-1103  
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

F A O (国際連合食糧農業機関) 日本事務所  
2009年12月9日

LOJAPR09/27-No. 149

## プレスリリース

### 食料価格再び上昇 穀物在庫が 2008 年危機再来の緩衝材

2009年12月9日、ローマ - 世界的な食料価格が、再び上昇傾向にあり、穀物、油料作物、乳製品、食肉及び砂糖で構成されているFAOの食料価格指数は4ヶ月連続の上昇を記録している。

しかし、FAOが9日発表した12月の世界の食料需給見通し (Food Outlook) によれば、2年前に食料価格危機の引き金となったときの市場状況とは違うという。

指数は11月に平均で168 (ポイント) であったが、これは2008年9月以降最高である。しかし、2008年6月のピークに比べればまだ21%低い。2007-08年の価格急騰以前は、指数は120 (ポイント) を超えることはなく、また、ほとんどの間は、100 (ポイント) 以下であった。

「2007年の価格上昇の初期において、FAOは価格上昇の原因となり得る要因をいくつか特定した。世界の穀物在庫の低減、主要輸出国における不作、バイオ燃料用の農作物需要の急増と石油価格の上昇である」とFAOの報告書は述べた。

「価格上昇が加速するにつれて、いくつかの他の要因が持ち上がり、混乱に更に拍車をかけた。最も重要なものとして、政府の輸出規制、USドル安の進行及び世界的に膨大な余剰流動資金を背景に、より広範な農産物への投資に対する投機筋と株価指数ファンドの投資意欲の増加が挙げられる。2007-08年時の価格急騰の特異性は、多くの要因が同時並行的に重なり、これまでにない価格反発と変動の増幅につながったことにある。」

#### 穀物在庫は健全

今日、世界の穀物在庫は、より安定した水準にあるが、いくつかの市場では逼迫 {ひっばく} した状況に直面している。価格急騰期に比べて、全体的に輸出国の保有する供給量は増加する需要に対応するのに適正である。例えば、主要輸出国における小麦の利用に対する在庫率は、今期12%から20%に増加した。バイオ燃料は依然主要な牽引役であるが、この部門の前年比の成長は減速している。

マクロ経済の要因、例えば為替レート、不安定な石油価格及び低金利もまた、投資家が現金を商品市場に投入する原因となっている。「引き続き需要供給の基礎的条件が商品市場を方向付

けるとはいえ、いまや確実に定着化しつつある外部の非食料経済状況への感受性には今後も警戒が必要である」、とFAOは述べた。

## 生産は向上している

「健全な在庫状況と良好な生産見通しは、今後6ヶ月における大きな価格上昇の危険性を低減させるものの、FAOは状況を非常に注意深く見守っていく」、とハフェズ・ガネムFAO社会経済局長は述べた。

穀物の初期見通しは、価格が下がると見込まれて作付けが減少したことに概ね起因し、2008年比で世界的に生産が減少傾向にあると示唆されるが、それでも2009年の生産は2007年比で4%増と予測されている。

世界的なキャッサバの生産は、主として、食料安全保障を持続しようとする取り組み及びキャッサバが主要な原料として浮上しているエタノール部門からの需要のため、2009年には過去最高を更新すると見込まれている。しかし、キャッサバの国際取引価格は2年前に比べて低いが、2010年には堅調になるであろう。

油料種子市場では、南アメリカでの高収穫が見込まれるため、今季後半には油かすの価格の低下があるかもしれないが、油脂市場は堅調になると見込まれる。世界の砂糖の価格は堅調とみられるが、現在の高値に比べると低い水準で推移すると見られる。

## 食肉低下、乳製品と水産物上昇

FAO食肉価格指数によれば、世界の食肉価格は昨年同期に比べて2009年最初の10ヶ月では平均で8%低かった。世界的に輸入が減少しているため、2009年の全ての食肉部門での世界貿易は落ち込むと見込まれるが、2010年には若干の回復が見込まれる。

乳製品価格は再度上昇基調にあり、貿易粉ミルクが最も価格上昇の高い製品で、2009年2月に新安値に達して以来80%の上昇を遂げた。今後の価格は欧州連合が国際市場にバターとスキムミルクの多くの在庫を放出するかどうかにかかっている。

2009年は、水産物及び水産加工品にとって需要に打撃を与える世界的な低迷により、課題の多い年であった。現在は数ヶ月にわたり、緩やかな価格上昇が見られている。

英文URL : <http://www.fao.org/news/story/en/item/38040/icode/>